

第70回
スケートインターハイ
長野



中盤以降失速

○：男子1万では、高校最後のインターハイとなった大崎公暉（八学光星）が、中盤以降失速。脚を押さえるほど苦しみながらもゴールにたどり着いた。タイムも自己ベストを大幅に下回った。「速いペースで

入れたが、いつもより早く疲れが来てしまった」と唇をかんだ。

幼稚園から中学校まで一緒だった、幼なじみの橋本芳彦の影響で長距離を続けているという大崎。「（優勝した橋本と）ずいぶんと差がついてしまったが、先々は追い付きたい。大学ではもっと筋力を付けて体重を上げ、ラップタイムの落ちづらい体力を付けたい」と成長を誓った。

【スピード・男子1万】16分2秒46で27位だった大崎公暉（八学光星）